

Title	青柳文雄教授 主要著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1976
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.49, No.1 (1976. 1) ,p.229- 236
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19760115-0229">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19760115-0229</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

青柳文雄教授 主要著作目録

【著 書】

昭和二三年

新刑事訴訟法要綱

東洋書館

昭和三三年

証拠法の基本問題（上）エドモンド・M・モーガン（翻訳）

「法務資料」三四九号所収 法務大臣官房調査課

昭和二四年

刑事訴訟法通論

立花書房

昭和三四年

証拠法の基本問題（下）エドモンド・M・モーガン（翻訳）

「法務資料」三五四号所収 法務大臣官房調査課

昭和二六年

増訂刑事訴訟法通論

立花書房

昭和三七年

新訂刑事訴訟法通論 上中下三冊、新訂版合冊 立花書房

犯罪の個数の訴訟法的考察

「司法研修所資料」四号所収 司法研修所

昭和二九年

全訂刑事訴訟法通論（上）（下）

立花書房

昭和三八年

刑法通論Ⅱ 各論 泉文堂

昭和三〇年

刑法各論

泉文堂

昭和四〇年

刑法通論Ⅰ 総論 泉文堂

昭和四四年

犯罪とわが国民性 一粒社

昭和四七年

犯罪と証明

有斐閣

現行刑訴の控訴審における事実の取調

警察学論集昭和二六年二、三月号  
法曹時報三卷一二号

昭和四八年

続犯罪とわが国民性

一粒社

昭和二七年  
新刑事訴訟法の改正について(座談会)  
事実認定の難しさ

法律新報七六〇号  
研修四九号

日本刑法論

成文堂

共同審判について

法曹時報四卷一二号

昭和四九年

刑事訴訟法入門

慶應通信

昭和二八年

英米法における故意・過失

法学研究二六卷九号

昭和五〇年

刑事裁判と国民性(機能編)

成文堂

挙証責任 日本刑法学会編「刑事法講座」六卷所収 有斐閣

【論考】

昭和二四年

刑事訴訟規則について

法律新報七五三号

昭和三〇年

心神喪失、心神耗弱の理論と実際(一)

法曹時報六卷一二号

昭和二五年

黙否権の本質

警察学論集昭和二五年一二月号

心神喪失、心神耗弱の理論と実際(二完)  
フランスにおける犯罪少年及び虞犯少年の処遇

法曹時報七卷一号  
法学研究二八卷一一号、家裁判例月報七卷一一号

昭和二六年

証明力を争う証拠と立証趣旨の転換

昭和三一年

自白の任意性と信用性  
準起訴手続について

警察公論一一卷二号  
法律のひろば九卷七号

刑事既判力の客観的範囲

垂水克己、兼子一等編『訴訟と裁判、岩松裁判官還暦記念』所収

有斐閣

上告審の手續及び裁判

団藤重光編『法律実務講座刑事編』一一巻所収

有斐閣

裁判批判の是非

上訴審における自由心証の控制(一)(二完)

警察公論一一巻一〇号

有斐閣

### 昭和三年

刑訴の証拠に関する規定は改正すべきか

カトリックの刑罰観

自然法と死刑廃止論

昭和三年

### 昭和三年

伝聞法則における証拠能力と証明力

いわゆる「腕に折る」事件の上告審判決

フランス刑事訴訟法改正草案(一)(二完)

押収搜索許可状

訴訟手續の瑕疵の治癒

佐伯千仞、団藤重光編『総合判例研究叢書(刑事訴訟法)』四巻所収

有斐閣

### 昭和三四年

期待可能性理論の実践的評価―不法監禁、暴力行為等処罰に関する法律違反被告事件の最高裁第三小法廷判決について―

期待可能性理論の具体的定立

刑法の諸機能の具体的定立

捜査における当事者主義の限界

不作為犯、過失犯における刑法の保障的機能

「広津評決」の検討―広津和郎著「松川裁判」は真実を衝いているか―

松川事件の最高裁判決について

刑訴四四一条三号による破棄判決(一)(二)(三完)

法の支配について

証拠法の理論と現実

判例時報一九八号一九九号二〇〇号

自由と正義一〇巻一―号

警察学論集一二巻一二号

新しい予審制度の検討

供述の任意性―小島事件―

公判中心主義の課題

ジュリスト一九九号

ジュリスト二〇〇号

法曹時報一二巻四号

事実の錯誤について

法学研究三三卷五号

松川事件

警察公論一六卷一三号

陪審制、参審制についての一考察

上智法学論集四卷一号

門田判決の検討―門田判決“は真実を衝いているか―

準備草案第一一条から第一六条について

綜合法学二四号

ジュリスト二三九号

捜査令状を発する司法官憲の法令審査権の有無―昭和三五年五月

二日東京地裁刑事一三部の決定について―

法律のひろば一三卷七号

昭和三七年

法律のひろば一三卷七号

捜査段階の拘束

法律のひろば一五卷一号

不動産二重売買と横領罪―共犯の不成立―

ジュリスト二二一号の二

現行犯概念の検討

警察学論集一五卷四号

ジュリスト二二一号の二

自手犯についての若干の考察

上智法学論集六卷一号

財産犯についての二、三の問題

綜合法学五卷二二号

## 昭和三六年

騷擾の概念の考察―最高裁の平事件の判決をめぐって―

警察学論集一四卷二号

昭和嚴窟王再審事件の論争

法律のひろば一五卷二二号

伝聞証拠

綜合法学三四号

控訴

日本刑法学会編「刑事訴訟法演習」所収 有斐閣

自由心証主義

法学セミナー六三号

昭和三八年

文書の押取、捜索について

ジュリスト二三八号

旧刑訴事件の再審の準拠法―日本嚴窟王事件―判例評論五四号

控訴審における事実の取調―諏訪メモをめぐって―

法学教室一号

期待可能性についての若干の考察

綜合法学六卷二号

法学教室一号

上智大学編「伝統と創造」所収

上智大学出版部

公平な裁判所の理念

法学研究三四卷八号

弁護人の権限

法学教室六号

松川裁判のみかた

法律のひろば一四卷九号

未必の故意の再検討

法曹時報一五卷五号

松川事件の問題点―仙台高裁判決を中心として―

自由と正義二二卷一〇号

税法上の質問検査権と犯則調査

税経通信一八卷五号

偽証罪の一考察

上智法学論集五卷二号

再審制度について

法曹時報一五卷六号

松川事件の捜査

警察学論集一四卷一一号

訴訟の理想と現実(上)(下)

ジュリスト二七六号二七七号

麻薬犯罪と陥捜査

警察学論集一六卷七号

所収

有斐閣

司法権と警察権の問題点

早稲田公論六三年一〇月号

量刑の手續と判決前調査

別冊ジュリスト一七号

松川事件最終判決

判例評論六二号

日本刑法学会編「刑事訴訟法講座」二卷所収 有斐閣

傾向犯について

法学研究三六卷四号

上訴審の構造

別冊ジュリスト二二号

松川事件雜感

ジュリスト二八四号

日本刑法学会編「刑事訴訟法講座」三卷所収 有斐閣

司法権の予防作用

上智法学論集七卷一・二号

刑事裁判における自由心証

別冊ジュリスト一七号

松川事件と弁護活動

自由と正義一四卷一・二号

佐伯千仞、団藤重光編「総合判例研究叢書(刑事訴訟法)」五卷所収 有斐閣

刑事警察の在り方

綜合法学六卷七号

五卷所収

有斐閣

疑わしきは罰せず

自由五卷一・二号

五卷所収

有斐閣

裁判批判の限界(松川事件)

法曹時報三五卷一・二号

昭和四〇年

証拠の集取と評価―松川事件を顧みて―

法律のひろば一六卷一・二号

法廷秩序維持法の合憲性

別冊ジュリスト一七号

訴訟の促進と捜査

警察学論集一六卷一・二号

挾一的認定

別冊ジュリスト一七号

昭和三九年

警察学論集一六卷一・二号

実務刑法の見地から見た共犯―理論と立法―

ジュリスト三一三三号

死刑存置論

法学研究三七卷一・二号

現代の犯罪と人間像

世紀一七七号

控訴審の構造

綜合法学七卷六号

捜査構造論とその批判

研修二〇〇号

上告審における自由心証の控制

ジュリスト三〇〇号

供述の任意性(小島事件)

別冊ジュリスト二二号

責任無能力を理由とする無罪判決と刑事補償

刑法雜誌二・三・四号

司法試験法の改正について

法律のひろば一八卷四号

共犯理論と証拠法

判例時報三七八号

自由刑とわが国民性

法学研究三八卷四号

責任無能力を理由とする無罪判決と刑事補償

刑法雜誌二・三・四号

不動産二重売買と横領罪―共犯の不成立― 別冊ジュリスト三三号

責任無能力を理由とする無罪判決と刑事補償

刑法雜誌二・三・四号

弁護士との接見交通について(捜査をめぐる諸問題)

警察学論集一八卷五号

共犯理論と証拠法

判例時報三七八号

警察学論集一八卷五号

青柳文雄教授主要著作目録

「現代の共犯理論 斎藤金作博士還暦祝賀」

独立教唆罪について

法学研究三八卷八号

青柳文雄教授主要著作目録

「現代の共犯理論 斎藤金作博士還暦祝賀」

独立教唆罪について

法学研究三八卷八号

青柳文雄教授主要著作目録

証明—丸正事件をめぐる—

判例タイムス一六卷一一号

起訴されざる事実と量刑

ジュリスト三七七号

犯罪の諸要素とわが国民性

刑法雜誌一四卷二号

八海事件の問題点

法律のひろば一八卷一〇号

昭和四三年

財産罪とわが国民性

警察学論集二二卷一号

昭和四一年

交互尋問の問題点

研修二一四号

刑事訴訟のある断面—カトリック者の立場から—

世紀一九三号

実体の形成とわが国民性—刑訴における—

上智法学論集一〇卷一号

法学教育とわが国民性

ジュリスト三五六号

手続の形成とわが国民性

法学研究三九卷一〇号

被疑者と弁護人との接見交通

警察学論集一九卷一一号

無過失の刑事責任

青木清相等編「過失犯—日沖憲郎博士還暦祝賀」所収

有斐閣

昭和四四年

手続と実体に関する資料—強盗、恐喝、詐欺罪について—

ジュリスト四一七号

多数被告事件に関する立法問題

法律のひろば二二卷四号

訴因の機能

法学研究四二卷五号

刑事訴訟の理論と現実

研修二五二号

国外犯について

法学研究四二卷七号

刑罰とわが国民性

刑政八〇卷一〇号

昭和四二年

少年法改正をめぐる論争の批判と提案

法律のひろば二〇卷一号

再審制度への疑問

判例タイムス一八卷四号

検挙前における犯人の心理—異常言動の考察—

警察学論集二〇卷六号

訴訟の組織とわが国民性

法曹時報一九卷八号

犯罪とわが国民性

法学研究四〇卷一二号

昭和四五年

いわゆる別件逮捕と報道

判例時報五七九号

礼拝所及び墳墓に関する罪―その日本の特色について―

手形の偽造と虚偽記入

別冊ジュリスト二七号

担保に入れた国鉄年金証書の騙取と詐欺罪

別冊ジュリスト二七号

事後審の理論と実際

法学時報二二卷一一号

責任論への国民性の投影

法学研究四三卷一一号

### 昭和四十六年

訴追委・公選法問題と野党

前衛三一八号

違法観の日本の特色

法学研究四四卷三号

法廷秩序維持法の監置の合憲性

別冊ジュリスト三二二号

共犯と集団犯(一) (二完)

研修二七三号二七四号

道交法とデモ規制―佐世保原潜―

別冊ジュリスト三三三号

常習犯か常習犯人か

研修二八〇号

控訴審における事実判断

鳴良弼等編「刑法と科学 法律編 植松博士還暦祝賀」  
所収 有斐閣

### 昭和四十七年

刑の一般的基準―国民性から考えて―

罪と罰九卷二号

自白における理論と実際

法律のひろば二五卷一号

業務上過失致死傷罪―特にその日本の特色について―

法曹時報二四卷二号

共犯における日本の特色

法学研究四五卷五号

判例から見た中止犯

警察学論集二五卷六号

控訴審における職権調査の範囲

ジュリスト臨時増刊七月一〇日号

訴訟における甘えの構造

法学研究四五卷八号

英米法における公訴の提起―大陸法との比較において―

法学研究四五卷一二号

### 昭和四十八年

岩田誠著「ある裁判官の思索と意見」を読んで

判例時報六八九号

交通事故受刑者についての訴訟手続の意識調査

ジュリスト五二九号

幫助の可罰性

法学研究四六卷五号

「いつそ」の論理と未必の故意

研修二九九号

刑事手続と基本的人権

法律のひろば二六卷五号

起訴されざる事実と量刑

ジュリスト増刊昭和四一・四二年度重要判例解説

家庭裁判所を経由しない少年事件の起訴と非常上告

ジュリスト増刊昭和四一・四二年度重要判例解説

自殺と法律

世紀二七八号



判例に現われた余罪の理論

警察学論集二六卷八号

鑑定と検証―英米法と大陸法の差異― 警察学論集二七卷一一号

刑事手続論―大陸型と英米型の調和の試論―

法曹時報二五卷八号

昭和五〇年

東洋的道義と西洋的倫理―刑法の背後にあるもの

法学研究四六卷一〇号

刑事裁判の確定力

法学研究四八卷一号

故意犯受刑者の訴訟手続の意識調査

ジュリスト五八四号

昭和四九年

内親法と国民性―特に刑法、刑訴法の見地から―

法学研究四七卷一号

自首と自白  
刑事司法における正義と刑事司法による正義

警察学論集二八卷九号

わいせつ罪について

世紀二八六号

供述証拠についてのイギリス法とアメリカ法

法学研究四八卷八号

違法に集取した物の証拠能力

警察学論集二七卷五号

素人裁判官の心証と女人裁判官の心証

研修三二七号

糾問的捜査観と弾劾的捜査観

警察学論集二七卷六号

現行犯概念の展開

警察学論集二八卷一一号

わが刑事訴訟法における生理と病理 (上) (下)

法曹時報二六卷六号七号

刑法雑誌二〇卷一号

現行刑事訴訟法と再審制度

法律のひろば二七卷九号

刑事訴訟における当事者主義極端化への疑問―最高裁判例を中心

として― (上) (下)

ジュリスト五六九号五七〇号

刑事手続特に上訴制度と刑罰観

法学研究四七卷九号

交通事故と犯罪の個数

判例時報七五三号